

# 人とのつながりを自分のプラスに

## だれもが 心から楽しめる 活動が目標

鈴木さんは小美玉市文化協会の事務局長を務める。文化活動をしている団体同士の情報交換など交流の橋渡しをしながらその輪を広げている。鈴木さんが文化協会に加入したのは15年前。近所で三味線をやっている方の誘いで民謡をはじめたのがキッカケだ。最近目にする文化協会のチラシのほとんどは鈴木さんが作成している。何パターンか作って会長のGOサインを受けて仕上がりとなる。

「自衛官時代に培ったタイピングの経験が今生かされている。」と鈴木さん。作成したチラシは写真が取り込まれていたバランスよく並んだ文字が人目を引く。

さらに鈴木さんが素晴らしいと思ったことは「いいか弦」というブログを立ち上げていること。気が向いたときに更新をしている。「突き詰めてやるタイプではないのでいくつもこなせ

る。突き詰めて考えないのがコツで切り替えの早いのが自慢」だという。「パソコンの機能を色々使って動かすのが面白い」と鈴木さん。

鈴木さんは家庭菜園も楽しんでいる。最近夏野菜を数多く植えた。ジャガイモやさつまいも堀りはお孫さんも手伝ってくれ。「孫たちの喜ぶ顔が見たくて作っているようなもの」と優しく話す。休日にお孫さんを通して畑に行くとき傍らでままごとを遊んでいるという。楽しそうな風景が目につく。

納場地区のコミュニティ活動にも平成2年の立ち上げからかわっている。現在は副会長を務める。「いかにして人を集めるか？」文化協会もコミュニティも課題は同じだ。「参加して良かった」と思われるような活動をしたいと鈴木さんは話す。PTAの役員や、区長を経験したことにより人とのつながりが持てた。それが今の活動につながる財産だと鈴木さんは話してくれた。

小学校の頃から音楽が大好きだったという鈴木さんはコーラスグループ混声やまばとでも活躍されている。お腹の底から大

きな声を出すのも鈴木さんの若さの秘訣だ。芸能ボランティアにも入っていて独居老人や岩間にある老人ホーム「すずらん」の慰問もする。鈴木さんは「人生70歳を超えてこんなこと始めちゃって・・・」と笑う。あまり人前で話すことが得意ではなかったが民謡をはじめてから平気になったという。

奥様の進めで茨城県が取り組んでいる60歳以上の方が対象のシルバリーハビリ体操指導員の資格をご夫婦で取得。自分のため、人のためにと現在小美玉市では17名のシルバリーハビリ体操指導員が活躍しているそうだ。多忙を極める鈴木さんは、みるれではみるれ支援隊・四季フェスみるれ実行委員としても活躍している。「みるれには生きていく中で必要な出会いがたくさんある」と鈴木さんは言う。「これからもみるれと係わっていく中でみるれと共に成長していけるように一杯サポートしていきたい。」と力強く語っていた。

(藤田佐知子)



6月7日から開催される文化協会祭を目前に控え、「たくさんのお客さんに来ていただきたい。」と語る鈴木さん

小美玉市文化協会 事務局長

# 鈴木 道男さん

みの〜れと共に生活するスタイル

# Minole Life

のすすめ

No.24

風薫る五月。色とりどりの若葉が私たちの目を楽しませてくれる。爽やかな陽気に誘われて毎日の日課であるウォーキングのために朝六時頃起き一時間程歩く。歩く前にはウォーミングアップをかかささない。自衛官時代に体を鍛えていたので今も健康でいられる事が財産だ。自分のため、可愛いお孫さんのため、大切な家族のために家庭菜園も手がける。ボランティア活動も熱心に参加している江戸住宅にお住まいの鈴木道男さんを取材する。